

安全とコメ消費拡大

べんとう
振興協会



安田 定明会長

度事業計画・収支予算などの議案を可決した。

安田定明会長は昨年来の食品に対する消費者の信頼を揺るがす問題について、

協会は「信頼性向上自主行動計画」を作成したと報告し、「当業界は原材料の高騰を製品の価格に容易に転嫁できる状況ではない。さらに、労働市場の逼迫によって人件費負担が増加しており、労働契約法、パートタイム労働法など新法によっても厳しい局面に立たさ

れている」と経営環境の厳しさを分析した。また、「4年目を迎える食品微生物検査技士資格認定制度や環境問題への取組みなどで安全

・安心をさらに強固にして消費者の評価を高めて厳しい経営環境にも対応することを誓い合いたい」とし、業界の切磋琢磨による団結で消費者の信頼を高めようと述べた。

大臣、町田勝弘農水省総合食料局長、島村宜伸衆院議員、石破茂防衛大臣、武部勤衆院議員など来賓多数が駆けつけ、同協会のコメ消費拡大活動を励ますなど、今後の活動に一層の期待を寄せた。

(福島厚子)

(社)日本べんとう振興協会
(東京都新宿区、03・3356・1575)は5月29日に東京・明治記念館で約250人が参加して第6回通常総会を開催し、ご飯食の啓発・啓蒙、食品微生物検査技士資格認定制度など業界の発展に努める08年

食品事故に冷静な報道期待

日本べんとう振興協会会長 安田 定明



最近いくつかの食品事故にかかわるニュースの多さです。

もちろん、許されない事件や事故もありま
す。しかし、異物混入
などで報道されている
中には、客観的に判断
して、ごまかす根拠の
裏掘り、かつ、あやこ
とないごまかす「の時
世だから」という理由
で安易に過熱報道して
いるものかどうかと
いうものも散見されま
す。

貴紙は業界のトップ
紙として、そのような
行き過ぎた事態にせむ
とも冷静な見識で対応
していただきたいと思います。

祝創刊65周年・10000号「日本食糧新聞」への提言・期待

「良識と正論」期待

徳武蔵野代表取締役

兼OJIC

室田 啓明



食品業界の業種別の売上げや利益をはじめ各種のデータが興味深く、また「胃心伝真」も面白く、私は貴紙を毎日読しながら読んでいます。今後、きめ細かい取材によって具体的な数値を盛り込み、他紙の追随を許さない報道を願います。

ところで、昨今の滞航を免じた一般紙の「食品専攻」を後部一部の通懸報道に良識ある専門紙として一線を画し、納得性のある「流石」と言われるバランスの取れた正論を訴えて欲しいと期待しています。